



# 寄居駅南地区活性化



## 寄居駅南口周辺の防犯対策は

**問** ライフ撤退後、南口周辺が夜暗すぎます。行政の対策で明るくできませんか。

**答** 寄居駅南口には、街路灯、防犯灯のほか、地元商店が管理している照明も設置されており、総合的な照明のあり方については、こうした状況を踏まえた上での対応が必要になると考えます。また、新たな店舗の出店を所有者に働きかけていきます。

**問** 駅周辺における防犯カメラ設置の考えについて伺います。

**答** 寄居駅周辺の防犯対策のため、防犯カメラの設置を検討していきます。

## ライフ跡地の利活用は

**答弁** 引き続き、出店の働きかけをしていきます



石井康二議員

Kouji Ishii

## 環境事業所施設の現状と今後の方針は

**答弁** 廃乾電池等の一時保管に使用しています



中嶋文雄議員

Fumio Nakajima

# ごみ焼却施設跡地

**問** 平成14年より、寄居町環境事業所（末野のごみ焼却施設）は閉鎖となっています。使用しなくなってから相当の年月が経過し、地域の防犯上からも早期の対応が求められています。そこで現在の施設の利用状況や今後の方針について伺います。

**答** 現在は、家庭から出た廃乾電池や廃蛍光灯管、放置自転車等の一時保管場所として使用しています。現在のところ、使途変更や売却等は考えていません。

**問** 日常の管理はどのようにしていますか。イノシシやアライグマ等の有害鳥獣のすみかとなる心配はないのか伺います。

**答** 回収の廃乾電池や回収廃蛍光灯管等の整理作業時や敷地内の除草作業時等、随時状況を確認しています。

## 跡地の有効活用の検討は

**問** 他の市町村でも、使用しなくなった廃棄物処理施設の活用は難しく、上手に活用されている例は少ない状況です。現在、使途変更や売却等の考えがないとすれば、施設を解体あるいは撤去し、跡地の有効活用を検討する必要があるのではないのでしょうか。多額の費用がかかる等の理由で解体撤去を先延ばしにしてよいわけはありません。解体撤去を必要とするものを次の世代に引き継いでほしくないと考えます。

**答** 公共施設等総合管理計画の策定後、解体を含め検討します。



閉鎖後の寄居町環境事業所